

「こおりやまの米」通信

編集:郡山市

JA福島さくら郡山統括センター (TEL.024-921-0503)

NOSAI福島中央支所 (TEL.024-933-3307)

県中農林事務所農業振興普及部 (TEL.024-935-1310)

発行:郡山市農作物生産対策協議会

(郡山市農業生産流通課 TEL.024-924-3761)

GOOD RICE DAY
毎月8日は
こおりやま「お米の日」

生育状況速報(7月14日現在)

1 生育状況

(1) 水稻生育調査ほ場における生育概況(7月14日現在)

各水田の調査結果は、以下の表のとおりです。平年に比べて、概ね草丈は短く、茎数は多い傾向です。幼穂は、概ね平年並に伸長しており、出穂期も平年並と予想されます。

* 移植時期等によりばらつきが大きいので参考程度とし、自身のほ場の生育ステージを確認してください。

生育調査結果(7月14日現在)

品種	地区	移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉齢 (葉)	葉色値 (カラスケール値)	葉色値 (SPAD502値)	幼穂長 (mm)
コシヒカリ	田村	5月6日	72.1 (93)	503 (112)	8.8 (-2.8)	3.5 (+0.6)	34.6 (+1.5)	0.0 (-13.1)
コシヒカリ	三穂田	5月14日	65.8 (89)	577 (113)	10.4 (-0.7)	3.5 (+0.4)	36.2 (-2.2)	4.0 (+2.0)
コシヒカリ	富久山	5月11日	70.1 (89)	434 (102)	9.8 (-1.9)	3.0 (-0.6)	36.3 (-1.8)	7.8 (-0.8)
コシヒカリ	日和田	5月5日	78.5 (95)	594 (113)	9.5 (-2.1)	3.0 (-0.5)	34.7 (-1.4)	8.0 (+2.4)
ひとめぼれ	熱海	5月16日	61.0 (93)	494 (117)	8.8 (-1.4)	5.0 (+1.6)	35.7 (+1.3)	9.8 (+3.8)
ひとめぼれ	喜久田	5月13日	62.4 (92)	532 (104)	9.2 (-2.1)	3.0 (-0.9)	37.2 (-2.1)	4.6 (-2.8)
天のつぶ	三穂田	5月28日	63.2 (86)	468 (95)	9.0 (-1.8)	4.2 (-0.2)	44.2 (+1.3)	2.0 (-4.5)
里山のつぶ	湖南	5月14日	61.9 (91)	439 (90)	8.5 (-2.1)	5.5 (+1.1)	41.4 (+4.0)	11.2 (-6.7)
ふくひびき	喜久田	5月3日	80.0 -	544 -	(6cm) -	3.5 -	36.9 -	- -
天のつぶ(直播)	喜久田	5月17日	59.4 (104)	730 (148)	8.0 (-1.4)	4.0 (-0.6)	44.8 (+1.0)	0.0 (-0.3)

* 過去5か年の平均値を平年値として、()内に平年比又は平年差を記載した。

* 「ふくひびき」については、令和8年度から新規のほ場で調査しているため、平年値データはない。また、葉齢の欄には、()内に止葉の葉耳間長を記載した。

* 「天のつぶ」(直播)の移植日の欄には、播種日を記載した。

(2) 福島県農業総合センターにおける生育概況

作柄解析試験(移植日5/15、慣行栽培)では、平年に比べ、草丈について「コシヒカリ」はやや長く、「ひとめぼれ」、「天のつぶ」はほぼ平年並です。茎数は平年より多く、葉色は濃い傾向です。幼穂形成始期については、平年に比べ「ひとめぼれ」、「天のつぶ」が1日早く到達しました。

出穂後も高温になることが予想されていますので玄米の品質低下に注意が必要です。また、高温により刈り取り適期も早まりますので、刈り遅れに注意してください。

【品種ごとの生育ステージ】(7月14日現在、福島県農業総合センター作況ほ)

品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (葉)	葉色値 (SPAD)	幼穂形成 始期 (月/日)
コシヒカリ	本年	75.3	607	11.3	35.4	-
	平年	71.9	579	11.1	31.8	7/18
	平年差・比	105	105	+0.2	+3.6	-
ひとめぼれ	本年	66.3	639	10.9	36.3	7/10
	平年	67.5	577	11.1	34.3	7/11
	平年差・比	98	111	-0.2	+2.0	-1
天のつぶ	本年	67.8	619	10.7	37.7	7/10
	平年	68.2	542	10.6	34.8	7/11
	平年差・比	99	114	+0.1	+2.9	-1

※平年値：令和3～7年(過去5か年)の平均値

※幼穂形成始期：主茎の80%以上の幼穂が1mmに達した日

2 今後の管理

(1) 適期作業と高温対策

出穂期は概ね平年並と予想されますが、今後、気温は高く推移する見込みです。ほ場の状況をよく確認し、病害虫防除等作業の適期を逃さないよう注意してください。

また、出穂期以降の高温により、乳白粒、背白粒等の白未熟粒が増加し、品質が低下することがありますので、「高温対策特集号」を参考に出穂期追肥などを検討してください。

(2) 病害虫防除

斑点米カメムシ類は、県内全域で発生時期はやや早く、発生量が多いので、適切な防除により、斑点米の発生を防いでください。斑点米カメムシ類の防除適期は「乳熟期(出穂期の7～10日後)」です。畦畔の草刈りは、斑点米カメムシ類を水田へ追い込まないようにするため、出穂の10日前までに済ませてください。

また、紋枯病が近年増加傾向です。過去に発生が多かった水田では、株元を観察し、適期防除を心がけてください。